

審 査 報 告

畜産ニューテック協会主催、第36回和牛枝肉共励会が東京都中央卸売市場食肉市場におきまして盛大に開催されましたこと、心よりお慶びを申し上げます。

本共励会は、「家畜改良事業団の種雄牛を使用した体外・体内受精卵移植により生産・肥育された黒毛和種の枝肉を広く需要者にアピールするとともに、受精卵による黒毛和種の生産振興に寄与すること」を目的として開催され、本共励会のために、日頃より丹精込めて生産、肥育し出品されました生産者の皆様のご努力と主催者の畜産ニューテック協会並びに協賛の家畜改良事業団、東京食肉市場、関係各位のご尽力に深く敬意を表す次第であります。

また、平素より当協会の格付事業推進にご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

それでは審査員を代表して出品牛の概要と審査結果についてご報告いたします。枝肉の審査は「牛枝肉取引規格」を基準として枝肉を総合的に評価し、審査員の投票及び合議により厳正、公正に実施いたしました。

今回の共励会には10都道府県の12団体の出荷者から和牛60頭の出品（去勢：48頭、雌：12頭）がありました。（前年34回は去勢41頭、雌19頭）

なお、「前年」とは昨年同時期に開催されました第34回共励会を示し、（ ）内は前年比といたしました。

格付結果は、全体の歩留等級ではA等級率が95.0%、B等級率が5.0%、肉質等級は5等級率が55.0% (+3.3)、4等級率が41.7、3等級率が3.3%で、4等級以上率が96.7%という高い発生率になりました。

次に和牛去勢ではA5が27頭、A4が18頭、A3が2頭、B5が1頭で、和牛去勢の歩留A等級率は97.9%と高く、肉質5等級率が58.3% (+7.1)、4等級率が37.5% (-4.0)、3等級率が4.2%で、4等級以上率が95.8 (+3.1) という好成績でした。

和牛雌ではA5が5頭、A4が7頭、B5が1頭、B4が1頭で、和牛雌の歩留A等級率は83.3% (-11.4)、肉質5等級率が41.7% (-10.9) で前年を下回りましたが、4等級以上率が100.0% (+26.3) で前年を上回る結果となりました。

★【和牛去勢 48 頭の格付結果】（前年 41 頭：34 回との比較）

	枝重	ロース	ばら	皮下	基準値	A 率	5 等率	4up 率	BMSNo.
今回	535.7	72.7	8.5	2.5	75.6	97.9	58.3	95.8	8.6
34 回	553.0	70.6	8.4	2.6	74.9	100.0	51.2	92.7	7.8
最大	659.0	106.0	10.3	3.9	80.7				
最少	444.0	50.0	7.0	1.3	71.7				
全国	500.3	62.8	8.0	2.5	74.5	93.5	39.0	80.4	7.1

※全国平均は、平成 29 年度牛枝肉格付情報 CD より
去勢の平均月齢は 29.4 か月齢（26.1～31.8 ヶ月）

和牛去勢の枝肉重量は、最大が 659 kg、最小が 444 kg、平均 535.7 kg で、これは前年より 17.3 kg 下回りましたが、29 年度の全国平均 500.3 kg（瑕疵のあるものを除く）を 35.4 kg 上回っております。

胸最長筋面積は最大が 106 cm²、最小が 50 cm²、平均 72.7 cm² で、前年の 70.6 cm² を上回り、全国平均の 62.8 cm² より 9.9 cm² 上回りました。

ばらの厚さは最も厚いものが 10.3 cm で 7 cm 未満はなく、平均 8.5 cm で全国平均（8.0 cm）及び前年（8.4 cm）を上回り、腹鋸筋の厚い充実したものが見られました。

皮下脂肪の厚さは最大が 3.9 cm、最小が 1.3 cm、平均 2.5 cm で、全国平均と同様でした。皮下脂肪や胸最長筋周囲及びばら等の過厚な筋間脂肪は価格低下の要因になりますので、十分留意され飼養管理願います。

肉質面においては、脂肪交雑平均は 8.6（+0.8）と増加し、「5」等級の条件である BMSNo. 8 以上のものが 28 頭（58.3%）、No.10 番以上は 22 頭（45.8%）発生しており、肥育技術のレベルの高さが表れました。

B C S No. は 3～4 の範囲で、肉の色沢及び肉の締まりきめが充実し、脂肪質は光沢と粘りのある良好なものが多く見られました。

★【和牛雌 12 頭の格付結果】（前年 19 頭：34 回との比較）

	枝重	ロース	ばら	皮下	基準値	A 率	5 等率	4up 率	BMSNo.
今回	519.3	65.9	7.8	3.3	73.6	83.3	41.7	100.0	7.7
34 回	501.4	70.9	8.0	3.0	75.0	94.7	52.6	73.7	7.1
最大	589.0	80.0	8.7	4.8	76.4				
最少	453.0	54.0	7.0	2.0	70.8				
全国	432.0	57.8	7.5	2.8	74.0	80.1	28.3	62.5	6.2

※全国平均は、平成 29 年度の数値
雌の平均月齢は 30.1 ヶ月齢（26.1～33.8 か月齢）

雌の平均重量は519.3 kgで全国平均より87.3 kg大きく、また、前年を17.9 kg上回り、全国平均を下回るものはありませんでした。

胸最長筋面積は最大が80.0 cm²、最小が54.0 cm²、平均65.9 cm²で前年より5.0 cm²小さくなりましたが、全国平均を8.1 cm²上回りました。

ばらの厚さは平均7.8 cmで前年を下回り、皮下脂肪は前年及び全国より厚い結果となりました。

枝肉重量が増加し、胸最長筋面積が小さく、ばらは薄く、皮下脂肪が厚くなったことで歩留基準値は73.6と全国平均及び前年を下回る結果となり、赤肉の割合が低下しました。無駄な脂肪付着は歩留に大きく影響し、価格の低下が懸念されますので、肉量のある枝肉を生産されますようお願いいたします。

肉質面においては、脂肪交雑は「4」等級以上の条件のBMS No.5以上であり、平均は7.7 (+0.6)と増加しましたが、「5」等級の条件であるBMS No.8以上のものは5頭(41.7%)と前年を下回りました。

BCS No.は全頭No.4で、肉の色沢及び肉の締まりはやや良いものが散見され、脂肪質は光沢と粘りがあり良好でした。

瑕疵については、9件の発生があり、枝肉の評価を大きく下げる要因となりますので、特に「アタリ」など避け得る瑕疵については、より一層慎重、丁寧な取り扱い等、対策を講じて頂きたいと思っております。

【瑕疵発生状況】

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	計
今回		2	4	2	1		9
前年	1		3	4	1	1	10

次に、入賞牛について報告いたします。

栄えある最優秀賞は、枝肉番号64番、(株)松永牧場様出品の去勢牛を選出しました。血統は「父：美津照重、母の父：百合茂」で枝肉重量524 kg、胸最長筋面積91 cm²、ばらの厚さ8.8 cm、皮下脂肪の厚さ2.3 cmで歩留基準値が78.6でした。

【最優秀賞】

枝肉番号	島根：(株)松永牧場様 「美津照重・百合茂」						
等級	BMS	BCS	重量	ロース	ばら	皮下	基準値
A5	12	3	524	91	8.8	2.3	78.6

枝肉各部の釣合いが良く、全体に厚みがあり、第6～7肋骨間切開面における各筋肉も十分に発達し、皮下脂肪及び筋間脂肪が適度で歩留基準値の高い、肉量の充実した枝肉でした。

肉質面においては切開面における胸最長筋のBMSNo.が12で、均一に細かく交雑し、周囲筋及び腹鋸筋などの交雑にも大変優れていました。また、後軀等の筋肉露出面にも交雑が見られ、仕上がりの申し分ない枝肉でした。特に肉の光沢及び締まりきめが充実し、脂肪の質は食味の良さを感じさせる非常に優れた肉質が評価され、審査員の満票を獲得しました。

優秀賞は3点選出しました。いずれも最優秀賞と甲乙つけがたい内容で、僅差での選出であります。

【優秀賞】

枝肉番号	65	島根：(株)松永牧場 様 「美津照重・百合茂」					
等級	BMS	BCS	重量	ロース	ばら	皮下	基準値
A5	11	4	588	100	9.0	2.4	79.0

胸最長筋面積やばらの厚さが充実し、脂肪付着状態が適度で基準値が高く肉量の充実が見られました。脂肪質が最優秀賞同様に良好でした。

枝肉番号	72	北海道：パシフィックファーム(株) 様「百合茂・安福久」					
等級	BMS	BCS	重量	ロース	ばら	皮下	基準値
A5	12	4	538	93	9.6	2.5	78.9

枝肉各部の釣合い良く、厚みがあり脂肪付着、筋間脂肪適度で無駄のない肉量の優れた枝肉でした。肉の締まりが良好でした。

枝肉番号	75	北海道：パシフィックファーム(株) 様「勝忠平・安福久」					
等級	BMS	BCS	重量	ロース	ばら	皮下	基準値
A5	12	4	546	91	9.3	2.0	78.8

枝肉各部の釣合いに優れ、厚く無駄な脂肪付着のない肉量の充実した枝肉でした。脂肪交雑は細かく肉の色沢が優れておりました。

優良賞は枝肉No.79、No.96、No.103、No.107の4点を選出いたしました。

【優良賞】

枝肉番号	等級	BMS	BCS	重量	ロース	ばら	皮下	基準値
79	A5	11	4	568.0	96	10.3	1.9	79.9
96	A5	12	3	511.0	91	9.0	1.6	79.4
103	A5	11	4	546.0	97	9.5	1.8	79.9
107	A5	11	4	583.0	98	9.2	1.3	79.8

以上、最優秀賞1点、優秀賞3点、優良賞4点を選出いたしましたので、褒賞下さるようお願いいたします。

最後になりますが、今回の共励会がこのように好成績をおさめられたのは、良い種雄牛と受精卵移植により生産され、それを仕上げる皆様の確実な肥育技術があつてこそその成果であります。家畜改良事業団の種雄牛を使用した受精卵移植牛がさらに普及し、生産振興に貢献されますよう、今後とも関係各位の益々のご発展を祈念いたしまして、審査報告といたします。

平成30年8月3日

文責 公益社団法人 日本食肉格付協会
関東支所長 神邊 健一